- 5 . 総合防災協力戦略を通じた国際貢献推進に関する調査

Survey on International Cooperation in Disaster Reduction

グキーワード

防災、アジア、国際協力、国際貢献

Key Word

Disaster Reduction, Asia, International Cooperation

1.調査の目的

国際社会からの防災協力の要請に的確に応え、顔の見える国際貢献を効果的に実施するためには、国内の防災に関する知識や技術のストックを整理したうえで、これらを効率的、効果的に活用することが必要となっている。

本調査では、アジア地域への国際貢献を主眼として、災害種別・対策別に我が国の防災対策 事例の収集・整理、災害を取り巻く環境の変化についての分析および総合防災協力戦略の策 定に資するデータの収集・分析を行った。

また、国際会議の場などにおいて対外的に我が国の防災政策を説明するためのプレゼンテーション資料を作成した。

2.調查研究成果概要

(1)災害種別・対策別の我が国の防災対策事例の収集・整理

防災先進県といわれる静岡県等の地方自治体を中心に地震対策、風水害対策、火山対策、雪害対策の収集・整理を行った。

先進事例の一例としては、東京都の都政の BCP(事業継続計画・地震編)がある。これは、 都民の生命、生活および財産を保護する(在宅患者・入院患者等への対応、東京 DMAT・医療救護班の派遣等) 首都東京の都市機能を維持する(緊急道路障害物の除去、水道施設の応急・復旧、航路・港湾道路の啓開等)の2つを目標として平成20年11月に策定されたものである。



災害図上 DIG (Disaster Imagination Game) テキスト 静岡県の事例



津波防災ピクトグラム 高知県の事例

(2)災害を取り巻く環境の変化についての分析

地球温暖化に伴う熱帯低気圧の強度の増大や集中豪雨の発生により被害が拡大した事例の収集、企業活動の国際サプライチェーンにより 1 地点の発災が国境を越えて被害を及ぼした事例を収集し、災害に影響を及ぼしえる外部要因の分析を行なった。

(3)総合防災協力戦略の策定に資するデータの収集・分析

アジア地域の防災対策を中心に国際防災協力機関の状況についてデータの収集・分析を行った。

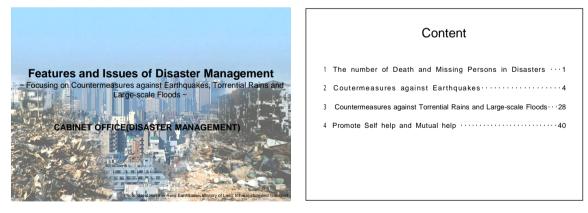
過去10年間での包括的かつ確固たる防災スキームが存在する太平洋諸国における災害へのアプローチとは違い、アジア地域における防災体制は各地域の組織や国家政策課題の間でより緩やかな協力となっている。このような地域性の中で国連、東南アジア諸国連合(The Association of South East Asian Nations; ASEAN)やアジア太平洋経済協力会議(Asia-Pacific Economic Cooperation; APEC)、南アジア地域協力連合(South Asia Association for Regional Cooperation; SAARC)、アジア災害予防センター (Asian Disaster Preparedness Centre; ADPC)、国際赤十字赤新月社連盟 (International Federation of the Red Cross and Red Crescent Societies; IFRC)などがどのような役割を担っているのか、地域レベルでの任務および目的、活動状況についてデータの収集・分析を行った。

(4)プレゼンテーション資料の作成

国際会議の場などにおいて対外的に我が国の防災政策を説明するためのプレゼンテーション資料 として DVD "Japan s Global Contribution to Disaster Risk Reduction"および PowerPoint" Features and Issues of Disaster Management ~ Focusing on Countermeasures against Earthquakes, Torrential Rains and Large-scale Floods ~ "を作成した。



DVD "Japan s Global Contribution to Disaster Risk Reduction"



PowerPoint "Features and Issues of Disaster Management ~ Focusing on Countermeasures against Earthquakes, Torrential Rains and Large-scale Floods ~ "